

# 私の選択は正しかったのか（てつがく的視点から）

2024.1.18 富谷塾 OneDayTeacher 発表

古藤隆浩



居場所妄想会 HP

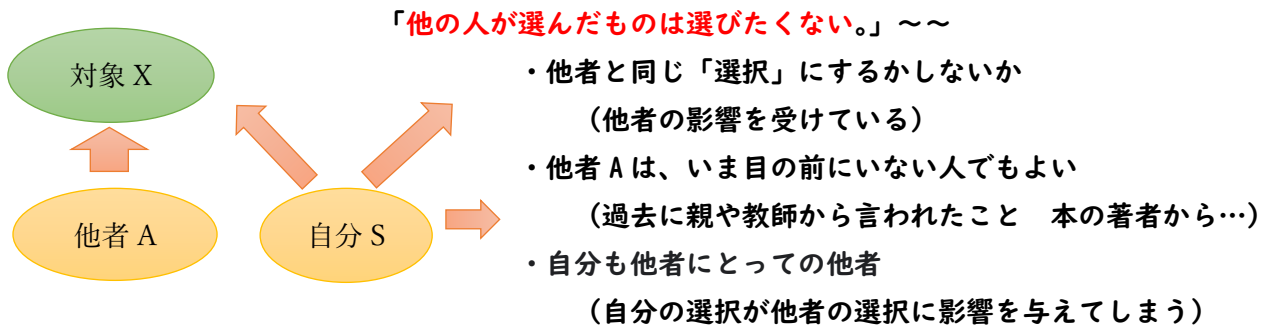
## ★はじめに

・「選択に迷う・後悔する」→自分にとってよい選択ができるために、「選択」についての人文学・てつがくを紹介する。今回はビジネス関連で言われていることもとりあげましたが、ハウツーまでは提示しない。

## ★1部 「選択」に影響を与えるもの

### 1) 選択が他者から大きく影響を受けている : 欲望の三角形 (ルネ・ジラール)

私たちは他者の欲望を模倣/反発している



(参考) 作田啓一 『個人主義の運命』岩波新書、1981年

### 2) 自分で選択を決定するしかない

ウクライナの戦争被災者

「おかげのようにパッと閃いたんです。彼らは、確かにわたしからすべてのものを奪ったけれど、わたしの日々そのものを盗む権利なんてない。その瞬間、他人の考え方の真似事をしないことにしました。」

「彼らへの怒りを私の喜びに変えてみせます。」

(参考) オスタップスリヴィンスキー ロバートキャンベル 『戦争語彙集』岩波書店、2023年

### 3) どんな選択をしても「選ばれなかったもの」は発生し、それを排除 取りこぼしてしまう

- ・認知的不協和理論 すっぱいブドウ 選べなかったものを「欲しくなかった」と理由づけして思い込む。
- ・認知的不協和を生きる 私が選ばなかったブドウだけど、とてもおいしいのかもしれない。

### 4) 「選べなかった」「選ばなかった」

- ・車がなく歩いている 道がわからなくて歩いている = 選択の余地 経済状況 下部構造 社会 過去  
↓
- ・すべてが「私の気持ちの持ち方」しだい ということではできない。
  - ・しかし私たちは「自由意志」「責任」「個人」「自己実現」…という言葉がある社会に生まれてくる。

### 5) 過去や現在、ものの見方は、「私の見方」「言葉・名前の付け方」しだいで変わる/変えられる

- ・「生きやすく」「社会に適応」するためには、「私の気持ちの持ち方」「ものの見方」を変えたほうが楽に生きられる。  
↓
- ・「選べない」「選択の余地がない」「個人が社会に規定されている」ことを忘れない。

6) さまざまなコトバは、その人なり/その社会なりの何らかの「価値」「意味」を帯びていることが大半

- ・勇気/臆病・主体的/従属的・強い/弱い・できる/できない・深い/浅い 仲間 家族 関係 公共
- ・カレー 給食 学校 教師 教科書 本 てつがく 哲学 文学 小説 SF 未来 テクノロジー
- ・馬 競走 農業 牛 牛乳 肉 培養肉 飼料 環境 新鮮 腐敗 発酵 人工 田舎 自然
- ・そのコトバに自分がもっている価値を自覚する 他者がもっている価値を理解する
- ・「価値中立」「客観性」～～文化や時代、状況、人によって変わるもの。「絶対」のものではない。

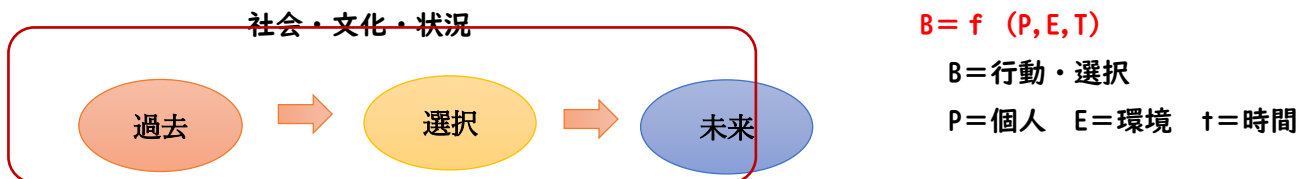
7) 日本人が好きな「無為自然」な選択

- ・丸山眞男 日本人の思考パターン「つぎつぎになりゆくいきほひ」(「歴史意識の古層」)  
古事記 国生み なる と うむ 生成
- ・池上嘉彦 <する> 的な言語 (英語) と <なる> 的な言語 (日本語) (『「する」と「なる」の言語学』)
- ・老荘思想 無為自然 自然のまま (cf 儒教:人為的道德 / 西洋:功利主義 )  
Cf キリスト教 神 愛 勤勉… フランス革命 自由 平等 博愛 カント 人格を目的に

8) 合理的選択をゆがめる認知バイアス :カーネマン&トヴェルスキー → 行動経済学 セイラー

- 愚かな選択をもたらすもの ・自信過剰 ・フレーミング (どのように問題が提示されるか)
- ・アンカリング (最初に入手できた数値・情報)・確証バイアス (自分への反論には目を向けようとしない)
- ・知識の呪い (専門知識をもっていると、もっていない人の見え方が理解できなくなる)
- ・数字オンチ ・ルッキズム ・自己満足 ・自分の視点への固執 ・直感で決める/理性で決める  
→ ロールズ「無知のベール」(自分が××だったかも) 知る・気づく あらかじめ基準を決めておく  
(参考) M.H. ベイザーマン 『すこしでも確実に社会に役立つ選択をする』東洋館、2022年

9) 選択は「過去・状況の結果」でもあり、「未来への原因・始まり」でもある。



10) だれにとっての良さ (価値) を実現させる選択か 自分 他者 社会 ……

11) どんな「選択」をしても未来はわからない 少しでもよい方向へ ↔ 偶然 運命 諸行無常

★ワーク1 「選択」に困っている自分 (または他者) はどういう状態にあるのかを想像してみる

A) 選択しないという選択

- ・流れに任せる / ・気分のおもむくまま / ・現状を続ける～就職/転職・結婚/離婚をしない

B) 選択肢を減らす/なくすという選択

- ・服はユニクロでしか買わない / ・毎日学校には行く / ・大学を卒業したら就職 / ・狭い選択肢

C) 選択したくないという選択

- ・「何者かにならなければいけない 自分らしく生きるべき」→「そのような欲求・ニーズはもてない」
- ・「何かをしたいけど、自分ではどれもしっくりこない」  
→引きこもり・ニート 「動けない」「選択したくない」

D) 選択したいけど、できないという選択

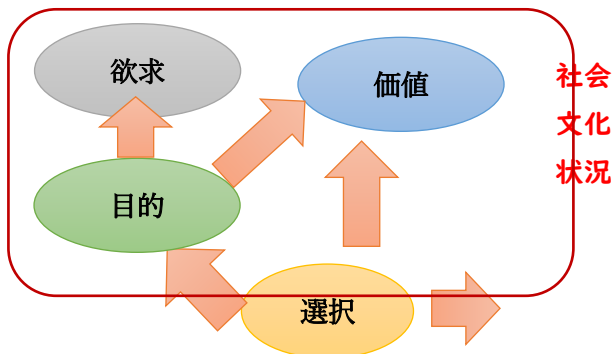
- ・「何かになりたいけど、親が反対しそう/反対されている」 「この服を着たら参加者はどう思うか」

Cf) 親は自分の好きにしてよいというけど、実は××という選択をとらせたがっている **ダブルバインド**

E) その他

★2部 「選択」は何をめざして行われているのか～「欲求」「価値」「無価値の価値」

12) 選択 目的合理的 価値合理的 欲求充足的



「選択できない」「選択したくない」場合

- 欲求が持てるか 価値が持てるか
- 目的・目標が持てるか
- 持てないならば、目の前のことへの対処？

※欲求 マズロー 5段階

(生理的、安全、社会的、承認、自己実現)

ホネット：承認欲求←→経済

13) 選択理論・現実療法 (参考) グラッサー『現実療法』サイマル出版会、1975年

[選択理論.jp](http://choicetheory.jp)—ウィリアム・グラッサー博士の提唱する、より良い人間関係を築くための心理学 ([choicetheory.jp](http://choicetheory.jp))

- ・大切な欲求 愛し愛される欲求 自分を価値あるものと感じる欲求 (人間関係)
  - 「私たちは、自分の行動のほとんどを選択している」 → よい欲求充足の仕方を学ぶ
- ・選択の判断基準 (3R)
  - ・Right (社会正義に反しないか) ・Reality (現実的か)
  - ・Responsibility (責任:他の人々の欲求充足の邪魔をすることがないか)

14) 目的への抵抗 (参考) 國分功一郎 『目的への抵抗』新潮新書、2023年

- ・「目的」に縛られると大切なものを見失う。 自由は、決めた目的を超えていくもの。

15) 選択の背後にあるさまざまな価値観 (1)

コア・バリュー (中核となる価値観) ワード・リスト

[コア・バリュー \(価値観\) ワード・リスト - 一般社団法人コア・バリュー経営協会 \(corevalue.or.jp\)](http://corevalue.or.jp)

- 【あ行】愛情 安定 意気 一致 一本気 イノベーション 打たれ強さ 影響力 オープンマインド 穏やかさ 落ち着き 思いやり おもてなし
- 【か行】快活さ 果敢 賢さ 家族 固い意志 果断 活力 活発 寛大さ 感謝 完全性 寛容さ 期待 機知に富む 気迫 気配り 機敏さ 希望 共感 勤勉 くつろぎ 気高さ 結束 献身 健全さ 謙虚さ 堅固 儉約 現実主義 好奇心 貢献 公正さ 心地よさ 克己心 根気強さ
- 【さ行】最高の サプライズ 幸せ 自覚 刺激的 自己主張 自己認識 自信 自省 自制 親しみ易さ 実用性 シナジー 自発的 社会貢献 社交的 自由 充足 柔軟性 純粹さ 順応性 勝利 情熱 自力本願 思慮深さ 真実 信条 親切さ 信念 信用 信頼性 静穏 正確さ 正義 清潔感 誠実さ 整然 精力 責任感 積極性 先見性 洗練 創意工夫 創造性 想像力 率直さ 尊重
- 【た行】体験 大志 大胆さ タイムリー 卓越 楽しさ 多様性 探求 団結 チームワーク カ 秩序 注意深さ 忠誠心 長期的な 挑戦 調和 直感的 徹底 独創性 独立心
- 【な行】忍耐 仲間意識 熱意
- 【は行】博愛心 激しさ 発見 バランス感覚 ひたむきさ 非凡 不屈の精神 プロ意識 平常心 平静 平和 奉仕
- 【ま行】真心 学び 魅力 無我夢中
- 【や行】柔らかさ やる気 勇敢さ 勇気 有効性 ユーモア 豊かさ 夢 用意周到 喜び
- 【ら行】楽観主義 理性 リーダーシップ 冷静さ
- 【わ行】分かち合い ワクワク感 ………

※上記のコトバとは逆の価値観もある 憎しみ 不安定 無粋(ださい) 不一致 優柔不断 保守 弱さ…

16) 選択の背後にあるさまざまな価値基準 (2) [A Comprehensive List of Human Values | Values Institute](#)

- 1) 独立、思考と行動の自由      2) 刺激 興奮、目新しさ、挑戦      3) 快樂 人生の喜び  
4) 達成、成功、能力、熟達      5) 権力、社会的地位、支配      6) 安全、安定、予測可能性  
7) 適合 社会規範や期待に沿う      8) 伝統      9) 慈善 福祉 貢献      10) 普遍 感謝、保護

17) 選択の背後にあるさまざまな価値 (3) [A Comprehensive List of Human Values | Values Institute](#)

- 1) 健康的価値      2) 経済的価値 (金銭)      3) 専門的価値 (リーダーシップ 責任…)  
4) 関係的価値 (愛 親切 共感…)  
5) 所属的価値 (家族 チーム 友情…)  
6) 精神的価値 (文化 利他 コンテンツ…)  
7) 経験的価値 (旅行 チャレンジ…)  
8) 認知的価値 (賢い ユーモア…)  
9) 社会的価値 (正義 自由 …)  
10) 適応的価値 (回復力…)  
11) 目的的価値 (成長 自己実現 慈善…)  
12) 環境的価値 (持続可能性 再生…)

- 18) 長期的価値 短期的価値      ・短期的価値は実現できないけど、長期的価値として実現させる  
・短期的価値ばかりを追い求めると、長期的価値は実現できなくなる  
・長期的価値ばかりを追い求めると、短期的価値は実現できなくなる

19) 「自分」は一様ではない      役割 / 自分の中に内面化されている他者の声

20) 選択する「自分」を疑う・問う      (cf 前回発表「自由意志」はない フーコー：主体・人間の死)

★ワーク2-1 何か1つ自分の「選択」を選んで、その基準(目的・欲求・価値)を考えてみる

★3部 両立思考・矛盾/パラドックスを引き受ける

21) 二者択一の思考を手放し、両立思考へ 多様な価値を実現させることを考える

・ジレンマ AかBかを選ばなければいけない →メリット・デメリットの比較 →袋小路

・パラドックス 同時に存在し、長時間持続する。矛盾しながらも相互に依存する。

【例】 自己と他者 仕事と私生活 目的と手段 ミッションと市場 短期と長期 全体と部分  
現在と未来 管理と柔軟性 管理と支援 支援と成長 内部と外部 グローバルとローカル  
留まると進む 安定と変化 創発と計画 義理とチャンス 成果と挑戦 コストと品質 陰と陽

・選択=創造性を奪うかも → 綱渡り 一貫した非一貫性

パラドックスに対峙する = 不快感・もやもやを尊重する 間を置く 受け入れる

→ 両立思考 パラドックスを両立させる : P=個人 E=環境 t=時間 のなかで。

・アンラーニング (学びほぐし) 知っていることを常に考え直し変化させる 既存の確かさを手放す

(cf ソクラテス 無知の知 私は何も知らないことを知っている)

(参考) ウエンディ・スミス マリアヌ・ルイス 『両立思考』JMAM、2023年

★ワーク2-2 ジレンマを感じている自分の選択から、パラドックスの両立の仕方を考える

★さいごに・「自由」な選択とは？

・経済的価値以外の価値を優先する選択、それを可能にする社会とは？

★感想

・ワークの結果  
・感じたこと・考えたこと・印象に残ったこと